

庁舎改築周辺整備事業

基本設計(案)

について ~総論~



令和7年3月

庁舎改築周辺整備事業基本計画を策定

就任当初からの方針である「凍結・見直し」に基づき、前回の計画をいったん凍結して、

財源・内容・時期について 総合的に見直しました

庁舎改築周辺整備事業基本計画

令和7年3月

軽井沢町



課題：発注者の能力の向上！

④町側に建築に関する専門家を配置



町内在住の一級建築士2名を身近なアドバイザーとして採用

- ・ 設計会議への出席
- ・ 発注方式の検討
- ・ 建築工事の仕組み
- ・ ランドスケープの考え方 etc . . .

課題：住民との合意形成のプロセスの改善



③住民と深く議論ができる協議体の設置



2年以上にわたり、深く内容を議論する場を設け、情報発信を徹底

令和5年11月より、全21回 開催

- 環境
 - 防災
 - 事業費
 - 建設方法
 - 交流センター
 - 合意形成
- etc…

地域コミュニティの拠点であり、質実剛健で 品格ある"軽井沢らしい建物"



住民説明会(3月13日・14日) 延べ78名参加





- 対話の場（12回）
- 各区との意見交換会（2回 延べ40カ所）
- 住民説明会（4回 延べ10カ所）
- パブリックコメント（7回）
- 各種団体との意見交換会（4回）
- 無作為抽出意見交換会（1回）

結論：財政は将来まで健全と想定

1. 税収

「増収を前提にしていない、慎重な推計です」

直近は増加傾向ですが、令和7年度以降は横ばいとする保守的な設計

2. 町債・基金

「計画的に借り、計画的に返す設計です」

返済計画は明確、財政調整基金は最終的に適正水準へ戻ります

3. 年間負担

「単年度の財政を圧迫する構造ではありません」

段階的な借入と返済により、急激な負担増は生じません

4. 実質赤字比率・実質連結赤字比率

「黒字です」

新庁舎改築周辺整備実施後も黒字を維持します

5. 実質公債費比率

「国基準と比較しても極めて低水準です」

令和6年度0.9%、ピークでも3.7%、基準25%を大きく下回ります

6. 将来負担比率

「将来世代への過度な負担は生じません」

ゼロで推移、新庁舎改築周辺整備実施後もゼロ見込み

総事業費 124億円
町民1人あたり 62万円?

総事業費が今や124億円です。人口約2万人の町にとって50年に一度の大事業であり、現計画は町民一人あたりの負担額が62万円（4人家族で1世帯250万円）とあまりに過大です。

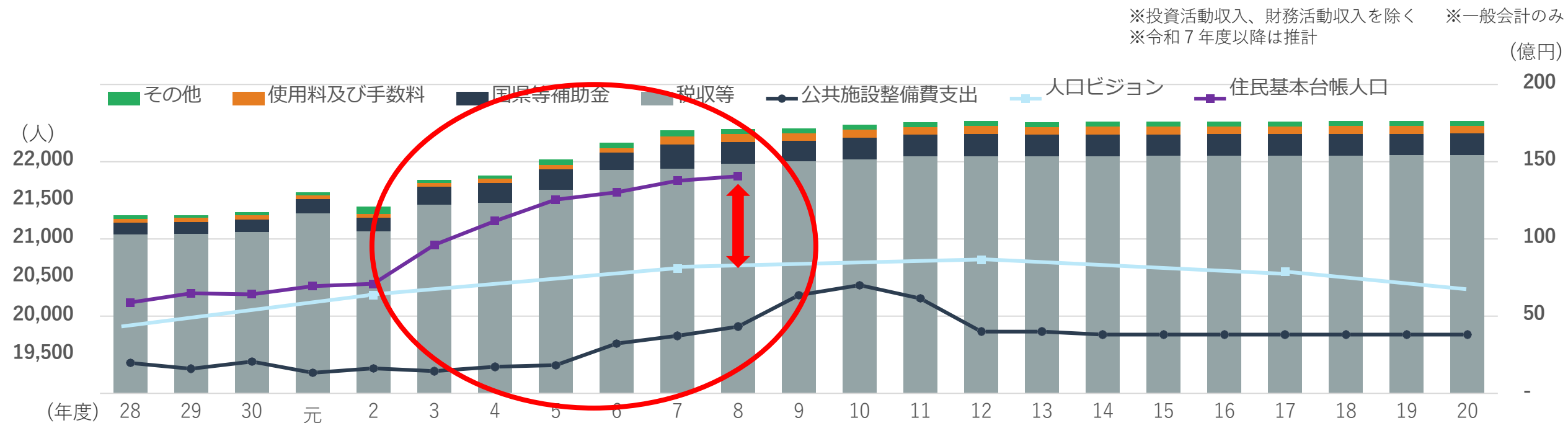
代替案で事業費を50億円削減できたら
それを住民の暮らしに大きく投資できます

?

税金等の推移

「増収を前提にしていない、慎重な推計です」

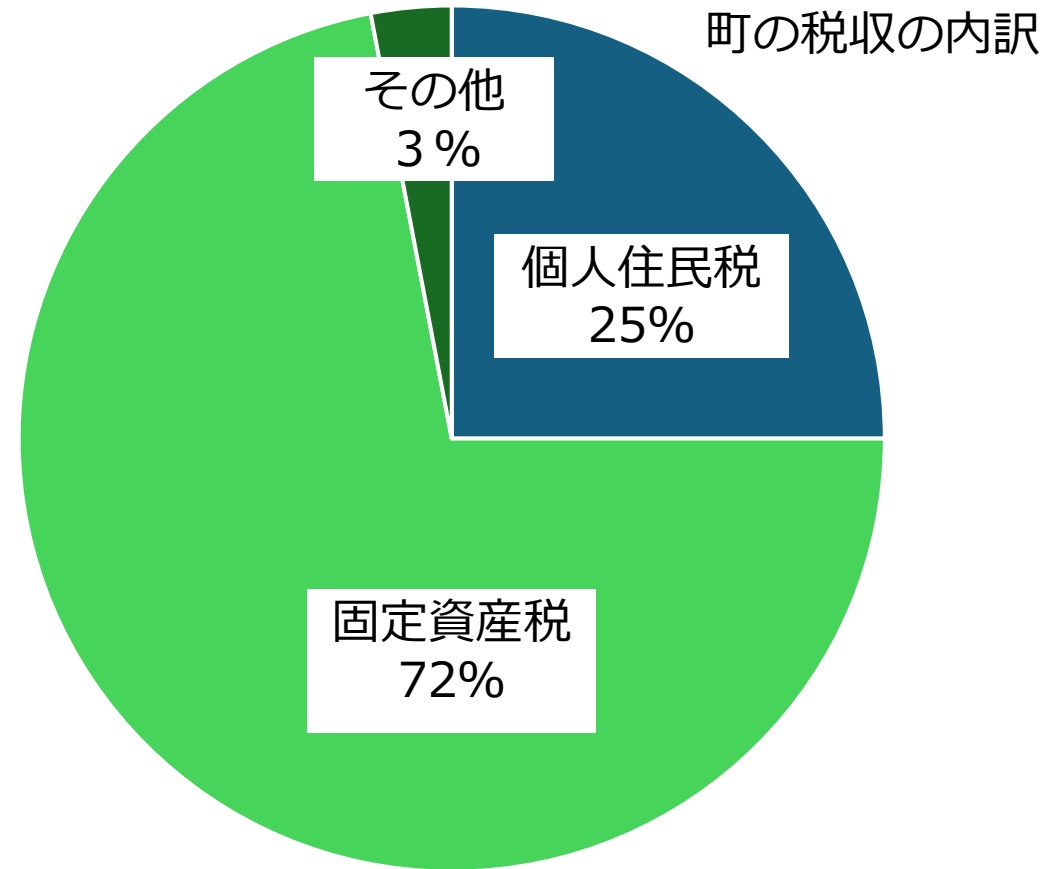
直近は増加傾向ですが、令和7年度以降は横ばいとする保守的な設計



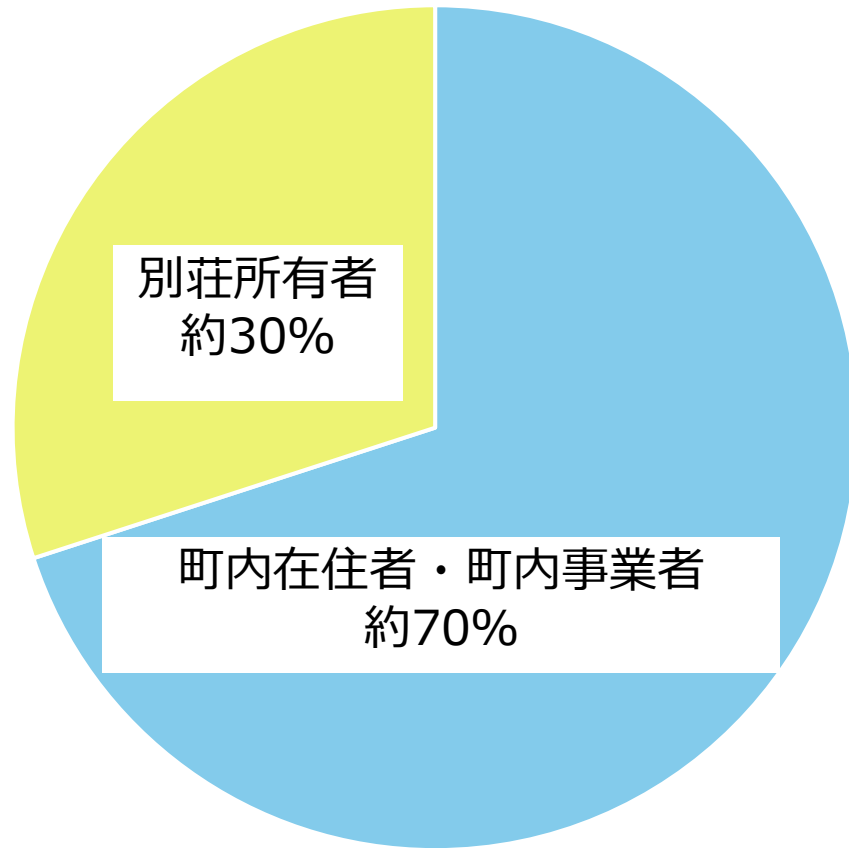
固定資産税 = 安定性が高い税収

➡人口減にも耐性が強い

➡重要なことは魅力的な町を維持すること



固定資産税が多い = 別荘からの税収が大半を占めているわけではない



**町の税収のうち約70%が
町内在住者・町内事業者によるもの**

財政規模ベース

(総務省HPより：R5決算カード比較)

自治体名	人口	一般会計
御代田町	16,551	9,541,887千円
小諸市	41,521	20,870,000千円
安中市	54,643	32,620,000千円
軽井沢町	21,559	19,920,000千円

※令和8年度の当町の一般会計予算は 約209億円

基本設計の策定に当たっては、正しいプロセスのもと概ねの合意を得られており、来年度の事業予算も認められているため、立ち止まることなく事業を進めていく

提 案

- お金の価値を現在価値に引き直して考えるとより強く発信すること
- 財政シミュレーションにおいて、外的要因のストレスを踏まえた想定をしておくこと

賛成意見

- 町の資料を読み込み、自分なりに事業をよく調べたうえで賛成している
- せっかく新しくなる施設なのだから使う側として考えたい
- 早くこの施設に行ってみたい、完成するのが楽しみだ

今後の課題

木の温かみを感じられるような施設となるよう、設計者と検討を進めていきます

